



大分県は新型コロナウイルスの早期収束を願う動画「うちフロ」を公開しました。

### 県が動画「もう少し辛抱を」



お風呂につかって免疫力アップ↑

「うちフロ」の一場面。アマビエが温泉でシンフロをしている

アマビエが「シンフロ」

県は28日、新型コロナウイルスの早期収束を願う動画「うちフロ」を公開した。疫病を払うとされる妖怪アマビエが県内各地の温泉などでシンフロをする内容。本格的に「おんせん県」を満喫できる日まで、もう少し辛抱しようとのメッセージを込めている。

動画は90秒と15秒の2種類。複数のアマビエが11カ所の温泉と、家庭の風呂に入り、滝廉太郎の「花」のメロディーと替え歌に合わせて踊る。歌詞は「帰宅したらすぐに入浴し、ウイルスを洗い流す」「風呂で免疫力を高める」「それぞれの場所ですることをやる」ことを呼び掛けている。

県のホームページと短文投稿サイト「ツイッター」

の公式アカウント「うちフロ」で見ることが出来る。湯船でシンクロナイズドスイミング（アーティスティックスイミング）をする大分県のPR動画シンフロとコラボさせた企画。事業費は300万円。制作した九州博報堂（福岡市）のクリエイティブディレクター久富和寿さん（42）は「今はまだ我慢が必要だが、必ず終わりが来ることを伝えたい」。県広報広聴課の渡辺修武課長（53）は「収束したら、たまった疲れや不安を大分の温泉で洗い流してほしい」と話している。公式アカウントでは湯の花を千人に贈るキャンペーンもしている。

（鉢上光樹）

2020年5月29日付  
大分合同新聞 23面

① この動画は、どのような内容でしょうか？

② この動画は「花」の替え歌が流れます。歌詞を通してどんなことを呼び掛けていますか？

③ 県広報広聴課長の思いは？

④ 動画を見て、感想・意見を書きましょう。 <https://www.onsenkenoita.com/>